

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4-2401
研究課題名	絶滅に瀕する島嶼陸産貝類の保全に向けた貝食性外来種防除技術の開発
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	東北大学
研究代表者名	千葉聰

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、島嶼の陸産貝類保全を目的とした画期的なプロジェクトであり、特にニューギニアヤリガタリクウズムシに対するRNA干渉剤（RNAi）を用いた殺虫技術の開発は世界初の成功例として学術的・実用的に高く評価される。アジアベッコウに対する種特異的な誘引法の発見も、環境省の保全事業への応用が期待される成果である。さらに、ヤエヤママドボタルのフェロモン成分特定や拡散防止技術の開発も進展しており、各サブテーマの成果はサブテーマ4における野外実装に活かされる見込みである。研究成果のアウトリーチ活動も積極的に行われており、地元住民の理解促進に貢献している。今後は、薬剤や誘引物質の種特異性の評価、環境影響の評価、コスト面の検討などを通じて、社会実装に向けた現実的な展開が求められる。閉鎖型レフュージアの一般公開による環境教育への活用も一案であり、国際的な波及効果も期待される。